

**第10回原子スケール制御表面・界面・ナノ構造国際会議 (10<sup>th</sup> International Conference on Atomically Controlled Surfaces, Interfaces and Nanostructures ; ACSIN-10)  
開催のお知らせ**

ACSIN-10 国際諮問委員 東京大学工学系研究科 市川昌和

ACSIN-10 が、スペインの風向明媚なグラナダにおいて開催されますので、分科会会員多数の参加をお願い致します。現時点での主要情報を記載しましたが、近々、ホームページに詳しい情報が掲載される予定ですので御覧下さい。

ホームページ : <http://www.grupoaran.com/acsin10/>

開催時期 : 2009年9月21日(月) ~ 25日(金)

開催場所 : Granada Conference Centre, Granada, Spain

2009年4月24日 : Deadline for abstract submission

2009年5月25日 : Notification of acceptance

会議のスコープ :

- Aromatic and biomimetic organic arrays
- Atomic and Molecular Manipulation
- Characterization and Instrumentation
- Electronic Transport
- Graphene
- Mechanics, Fracture and Nanostructures
- Nano-Biotechnology
- Nano-Electronics and Molecular-Based Devices
- Nano-Magnetism
- Nano-Photonics
- Nanoparticles and clusters
- Nanotubes and fullerenes
- Organic Thin Film Devices
- Oxides
- Reaction and Dynamics
- Scanning Probe Microscopy
- Self-assembly of functional molecules
- Surface/Interface Electronic Properties
- Surface/Interface Structural Properties
- Surface Microscopy
- Thin Film Growth and Application



Granada Conference Centre



Granada の Alhambra 地域の風景

\* (注)

ACSIN は、1991 年秋に、応用物理学会薄膜・表面物理分科会の創立 20 周年を記念して、「原子スケール制御表面・界面国際シンポジウム;ACSI」として創設されました。本会議では、表面や界面の形成・反応過程を原子レベルで解明することによって、表面・界面の形成を原子スケールで制御するための科学・技術の創造に寄与することを主題としました。この主題は、ナノサイエンス・ナノテクノロジー研究潮流を先取りしたものでした。

第 1 回は東京（東京大学、1991. 11. 19～22）、第 2 回はフィンランド（Univ. Joensuu, 1993. 6. 16～19）、第 3 回は米国（North Carolina Univ., 1995. 10. 12～14）、第 4 回は東京（早稲田大学、1997. 10. 27～30）、第 5 回はフランス（Univ. Provence, 1999. 7. 6～9）、第 6 回は米国（Lake Tahoe, California, 2001. 7. 9～12）、第 7 回は奈良（奈良県新公会堂、2003. 11. 16～20）、第 8 回はスウェーデン（ストックホルム国際会議場、2005. 6. 19～23）、第 9 回は東京（東京大学、2007 年 11. 11～15）において開催されてきました。